

しんろ じゅけん
 進路・受験

摘してくれます。

確かに、風景に感情を重ねる技術は、古くから日本人の得意技でした。短歌や俳句はその最たるものでしょう。しかし、風景は「目」と「感情」だけで見ているかという、それだけではありません。

が「石」や「壁」という名前(言語)であると知らなければ、風景はながめられないというわけです。

私たちはさまざまな方法で、風景をながめています。他者との見方の違いを実感することも、物語を読む楽しみの一つではないでしょうか。

小さいころからずっと続けてきた習い事が私立中学入試で評価される——。こんな新しいタイプの「自己アピール(プレゼンテーション型)入試」を導入する中学校が、首都圏で注目を集めています。2020年度の大学入試改革で、求められる学力が変化することなどを背景に、入試が多様化しています。(編集委員・根本理香)

習い事を評価

 「自己アピール入試」
 首都圏で導入の動き

自己アピール入試では、受験生はスポーツや英会話など、塾での勉強以外で打ちこんできた活動を、面接などでプレゼンテーションします。「習い事入試」と呼ばれることもあります。

首都圏模試センターによると、首都圏では今年春の入試で、中村中(東京都江東区)が「ポテンシャル入試」、宝仙学園中理数インター(同中野区)が「リベラルアーツ入試」と銘打ち、教科試験なしで初めて導入しました。

中村中の前校長、梅沢辰也先生は、「偏差値だけでなく、ちがった軸で自信を持った生徒が入ってくる。ことによって、学びあいの空

間を作りたい」。塾に通っていない小学生に知ってもらうため、学校外の運動系や芸術系の教室などへの広報活動に力を入れているそうです。

宝仙学園中理数インターは、今年春の入試では1回だったリベラルアーツ入試を、来春には2回に増やします。同校の右田邦雄教頭は「好きなことを続けてきた子は必ずかべにぶつかっている。それをどうのりこえたかは学習にも反映できる」といいます。

来春の入試では、首都圏で10校以上が自己アピール型の入試を行う予定。表を見てね。科目別のテストを課すところもあります。

自己アピール(プレゼン型)入試を行う主な学校

<東京> (○=男子校、●=女子校、◎=共学校、別学)

◎郁文館	2月2日 面接、活動報告書
●佼成学園女子	2月4日 面接、作文、国語・算数
●東京家政学院	2月1、3日 面接、国語・算数
●東京純心女子	2月4日 面接、作文、聴く力・書く力をはかる問題
◎東京立正	2月1、8、12日 面接、(作文)、国語・算数
●中村	2月2、5日 面接、作文、書類審査
◎日本工業大学駒場	2月2日 面接、作文、国語・算数・英語から1科
◎宝仙学園理数インター	2月1、4日 面接、日本語リスニング
○立教池袋	2月5日 面接、国語・算数

<神奈川>

●聖和学院	2月2、5日 面接、作文
◎桐光学園	2月4日 面接、国語・算数、書類審査

<千葉>

◎昭和学院	12月6日、1月21日 面接、作文
-------	-------------------

<埼玉>

◎浦和ルーテル学院	1月14日 面接、国語・算数
-----------	----------------

※詳細は各校にお問い合わせください